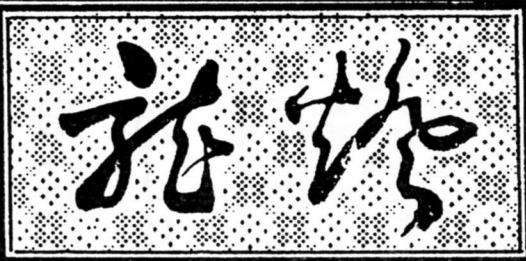


第 4 1 号

発行所 大阪市史跡 龍溪禪師墓所
 靈 亀 山 九 島 禪 院
 〒550-0022大阪市西区本田3丁目4-18
 ☎06-6583-2725
 発行人 住 職 奥 田 啓 知 (智證)



阪神西大阪線難波延伸工事・平成十五年に着工着手！

スローライフ

がんばらない宣言

「都会的になるのが幸せか」

岩手県が提唱する「がんばらない宣言」の新聞広告に注目が集まっています。広告は総務省の全国地域情報発信事業を活用し、一昨年開始されました。岩手県出身の宮沢賢治に大きな影響をうけた作家をめざしたという椎名誠さんを起用し、「何かしていなければ落ちつかないつねにがんばってはいないと不安になる。そんなの変だぜ現代人諸君。僕が大好きな岩手に出かけてごらん、気分のいい風と空と雲が、きらきら、ふわふわ、笑って待っているから」と呼びかけました。

経済効率重視の価値観を転換し、地域の文化を見直す「スローライフ」。「スローライフ」の運動が静かに広がっています。岩手県の広告も、その流れにのったものです。

「スロー」とは「ゆっくり、ゆったり、豊かな心」を意味しハンパーガーなどファーストフードに象徴される「早く、安く便利」という効率一辺倒の考え方を否定し、より人間らしく、

健康で、自然な生き方に立ち戻ろうとする運動なのです。

「がんばる(頑張る)」とは、苦しさに負けずに努力することを言いますが、岩手県の宣言は、どうということなのでしょう。

岩手県は、かつて乳児死亡率が全国で一番高く遅れた県でした。その汚名をはらそうと、一生懸命でした。一般に地方都市は、都会に追いつこうと、経済成長第一主義で、熊や鹿しか走らないような高速道路を作ったり、大きな文化会館を建設し、地方のもつ豊かな自然を破壊してきました。

今、そのような県の知事が、なんと「がんばらない宣言」をしたのです。一周遅れのランナーが追いつこうとすることを止めてしまい、逆に、都会の猛烈な生活のなかでクタクタになっている人達に、どうぞゆっくりとして下さいと、その受け皿になりましょうと。そういう県を作ろうと宣言したのです。

都会的になることが、素晴らしい

しいことなのではなく、地方の特色をしっかりと自覚して、地方のよさを生かした努力をすることが、そこに住む人達に自信と誇りをもたらしてくれるのだと思います。日本全国が東京になっても仕方がないのです。地方には都会にはない地方のよさがあるのだから。

世界に目を転じてみても、アメリカ、アングロサクソンが進めるグローバルイゼーションが問題なのです。世界がグローバル化してアメリカ的な社会に画一されるのは間違っています。

一されるのは間違っています。精進(しょうじん)「といいますが、都会的にならないと幸福はなれないと思いませんか。努力は決して仏教でいう「精進」ではありません。仏教の「精進」は(スローな)ゆっくりとした努力であり、それこそ「がんばらない宣言」がいうところの「スローライフ」そのものなのです。

